

経営比較分析表（令和元年度決算）

福岡県 鞍手町

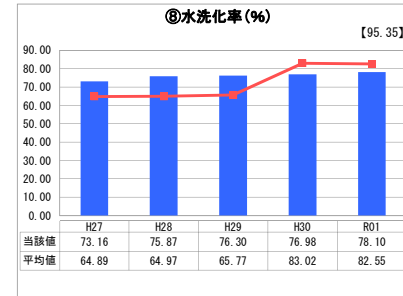
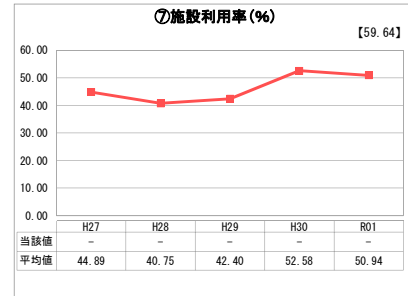
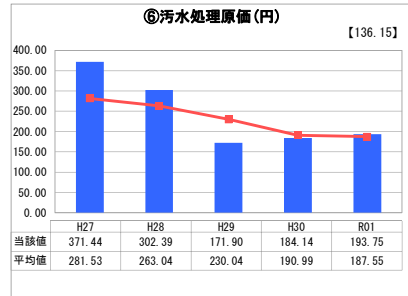
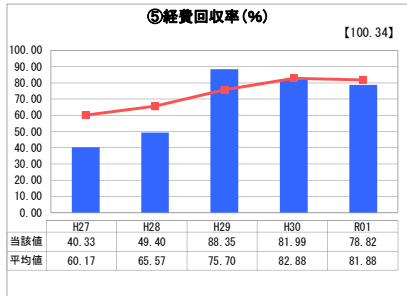
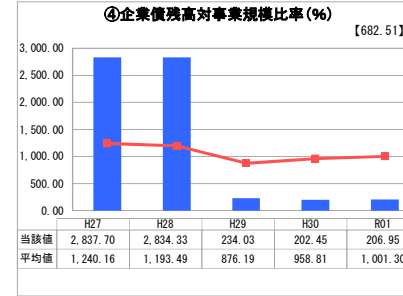
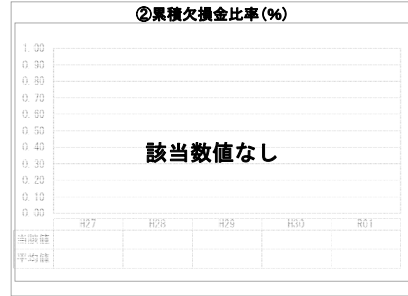
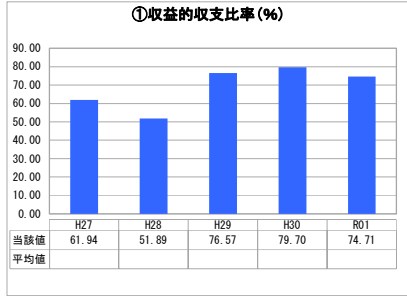
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	51.32	96.64	3,080

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,853	35.60	445.31
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,099	3.00	2,699.67

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率
法適用準備に伴い、総費用が一時的に増加したため、一時的に収益の収支比率が悪化している。次年度以降は前年水準程度まで改善する見込みである。

④企業債残高対事業規模比率
同規模で継続的に事業を行っているため、起債残高は増加傾向にある。しかしながら処理区域の拡大により営業収益の増加も同時に見込まれるため、値は同水準で推移するものと考えられる。

⑤経費回収率
汚水処理費に係る経費が増加したため値は減少しているが、経費の増加は一時的なものであるため、今後は例年水準程度まで改善する見込みである。

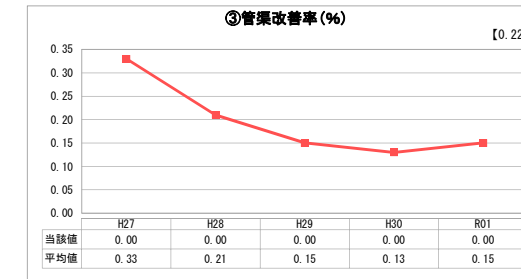
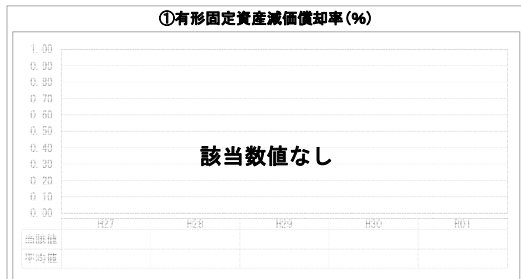
⑥汚水処理原価
汚水処理費に係る経費が増加したことにより、値は増加しているが、経費の増加は一時的なものであるため、今後は例年水準程度まで改善する見込みである。また汚水処理費が例年同規模で推移した場合、処理区域の拡大により有収水量の増加が見込まれるため、汚水処理原価は減少傾向となる見込みである。

⑧水洗化率
高齢者世帯で次世代の家族がいないなどの理由で、水洗化が進んでいない状況にある。啓発活動により水洗化率の向上に取り組む必要がある。

2. 老朽化の状況について

平成15年7月に供用開始をしたため、更新時期を迎えた管渠はないが、将来発生する更新事業費をストックマネジメント計画により平準化・削減を図る必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和3年度に法適化を予定しており、今後は法適化に伴うより詳細な数値の見える化が予想される。また、今後の事業計画については、人口減少など社会情勢の変化を鑑み、今年度末に策定する経営戦略の内容も踏まえながら、事業の経営改善と共に検討していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。